

2023年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
ビジネスと社会											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	平山 浩樹			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
組織設計事務所の建築士として 2 8 年間、建築の設計及び監理に携わる。スポーツ施設、集合住宅、大学、庁舎などの建築を担当し、基本計画、基本設計、実施設計、工事監理など建築のプロセスにおける実務経験を持つ。											
授業概要											
自分の適性を理解し、社会人としての心構えについて学ぶ。											
到達目標											
次の 3 点を到達目標とする。 ①社会的にも職業的にも自立している人になるため、社会のルールを守る人、自分のことだけを考えるのではなく、他人や社会のためになることを考えて行動できる人になる。 ②マナー、身だしなみ、敬語、電話対応、ビジネス文書の作成などを理解する。 ③ビジネス能力検定ジョブパス3級を合格を目標とする。											
授業方法											
公式テキストに沿って講義するが、ビジネス用語や時事用語などのプリントも配布するので、各自でファイリングすること。これらの用語は通学時の待ち時間や授業開始までの隙間の時間を有効に活用して暗記すること。											
成績評価方法											
提出物、授業態度、平常点、などを総合的に判断する。											
履修上の注意											
出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。											
教科書教材											
B 検ジョブパスビジネス検定3級公式テキスト 日本能率協会マネジメントセンター B 検ジョブパスビジネス検定3級公式試験問題集 日本能率協会マネジメントセンター											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス、仕事の基本となる 8 つの意識										
第2回	ビジネスマナーについて										
第3回	社会人としての身だしなみや挨拶、職場での態度について										
第4回	効率的な仕事の進め方と P D C A サイクルについて										
第5回	ビジネス文章と電話対応について										

2023年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
ビジネスと社会	
第6回	情報収集とメディアの活用について
第7回	日本経済の基本構造と変化について
第8回	過去問演習（70%以上正解を目標）
第9回	過去問演習（75%以上正解を目標）
第10回	過去問演習（80%以上正解を目標）
第11回	福祉に関する基本概念
第12回	少子高齢化と福祉住環境整備の重要性
第13回	在宅生活の維持とケアサービス
第14回	高齢者の健康と自立
第15回	建築における福祉と社会の関連性